

【河村先生への講演後インタビュー】

(1) 講演を聴いていた方々の印象はどうでしたか？

皆さんが僕の話を通じてよく聴いてくれたことに感謝しています。自分の話していることが伝わっているか不安でしたが、うなずいて聞いてくださる方が多くて安心しました。皆さんには調子に乗っていた頃の自分のような経験はしてほしくないもので、それが伝わっていたらと思います。

(2) 先生がジュビロ磐田所属時代に尊敬していた選手はいましたか？

名波浩さんも、藤田俊哉さんもそうですが、人として尊敬していたのはゴン中山（中山雅史）さんですね。誰よりも早く練習に来て、誰よりも遅く帰る努力家。特に身体のメンテナンスにかかる時間が半端ない。練習前にとんでもない筋トレをするし、短距離走もゴールの25m先まで全力で走っていました。ゴンさんこそ、『自分の生きざまを背中で見せる』人だったと思います。こういう話も講演の中で触れられたらよかったですね(笑)。

(3) 先生が子供の頃に「ほめられてうれしかった言葉」は何ですか？

『すごい』・『よくできたね』・『何でこんなことができるの?』と言われるのがうれしかったです。

(4) 講演の中で、大人が子供に対して「待つ」姿勢が大事とありましたが、先生自身が待てないときはありませんか？

正直言って、あります(笑)。つい、感情的になってしまうんですね。そのときは『自分磨きが足りないからだ』と振り返っています。さっき偉そうなことを言っておきながら僕もできていません(笑)。だからこそ『自分磨きをしています』と言えるのかもしれないですね。

(5) 先生ご自身はこれまで「あきらめようかな」と後ろ向きになったことはありますか？

たくさんありますよ(笑)。あきらめの連続です。若い頃はミスをミスだと思っていませんでしたし。それでも、タイのサッカーチームで給料が4か月半出なかった頃に比べたら、現在起きているほとんどの困難は平気ですよ。

(6) 最後に、保護者の皆様に対してメッセージをお願いします。

これまで高校生くらいの子供たちを相手に講演したことはありますが、保護者の方に向けて講演をしたのは初めてです。自分の経験談などから、何か引っかけられるものがあったら…と思っています。親御さんの『自分の子供にはこうなってほしい』はエゴではないかと思っています。結局は子供が自分で決める。自分の責任で決めることが大事なのではないかと思っています。私も『道半ば』です。保護者の皆さんと一緒にこれからも『自分磨き』ができたらと思っています。

本日はありがとうございました。